中央農業高校 校長室だより 号外

― 命はぐくむ学びの風景 ―

神奈川県立中央農業高等学校　校長　岩崎秀太

全国の舞台で躍動！ 中農生が農業クラブ全国大会で大健闘！
～農業鑑定競技会で２名が優秀賞！ 関東代表として堂々のプロジェクト発表～

令和８年10月20日（火）から22日（木）までの３日間、徳島県と高知県を会場に、「第77回日本学校農業クラブ全国大会 令和８年度南四国大会」が盛大に開催されました。

本校からは、プロジェクト発表会の分野Ⅲ類「資源活用・地域振興」に関東地区代表として10名、農業鑑定競技会に５名、クラブ員代表者会議に農業クラブ会長が参加しました。全国の農業高校生が集う大舞台で、日頃の学習や研究活動の成果を存分に発揮してくれました。

■ 農業鑑定競技会で２名が優秀賞を受賞！

10月21日（水）、高知県南国市の**高知県立高知農業高等学校**を会場に農業鑑定競技会が開催されました。

本校から５名の生徒が出場し、野菜の部において、**園芸科学科の秋林 優斗さんと小澤 碧さんが見事「優秀賞」を受賞**しました。

農業鑑定競技会は、農業に関する専門的な知識や技術に関する40の問題を解き、その正答数を競うもので、全国から選ばれた実力のある生徒たち約1000名が参加します。その中で２名が優秀賞を受賞したことは、大変素晴らしい成果です。日々の授業や実習で培ってきた知識と、地道に努力を積み重ねてきた成果が実を結びました。受賞した２名に心から拍手を送ります。

■ 関東地区代表としてプロジェクト発表会 分野Ⅲ類に挑戦！



10月21日（水）、徳島県徳島市の**あわぎんホール**を会場に、プロジェクト発表会が開催されました。本校からは、関東地区大会で最優秀賞を受賞した生徒10名が、分野Ⅲ類「資源活用・地域振興」に関東地区代表として出場しました。

私も実際に会場に足を運び、生徒たちの発表を見学しました。全国各地区の厳しい予選を勝ち抜いてきた代表校が集まるだけに、どの学校も研究内容や発表技術が非常に高いレベルにありました。

そのような中、本校の生徒たちは、これまで取り組んできた研究の成果を、自信を持って堂々と発表してくれました。研究内容の充実ぶりはもちろん、発表の構成や表現力、チームワークも素晴らしく、**全国各地区の代表校に決して引けを取らない、誇れる発表**でした。残念ながら、あと一歩のところで入賞には届きませんでした。しかし、全国の舞台で堂々と発表する姿を目の当たりにし、校長として大変誇らしく感じました。

仲間と協力し、試行錯誤を重ねながら研究を進め、関東地区代表として全国大会に出場できたこと自体が大きな成果です。この貴重な経験は、生徒たちの今後の成長につながるものと確信しています。





■ クラブ員代表者会議で全国の仲間と交流

同じく10月21日（水）、高知県高知市の**高知県立春野高等学校**では、クラブ員代表者会議が開催され、本校の農業クラブ会長が参加しました。全国各地の農業高校を代表する生徒たちが集まり、日頃の農業クラブ活動や課題について意見を交わしました。他校の取組や考え方に触れることは、今後の本校農業クラブ活動をさらに充実させるための貴重な機会となりました。

■ 約5,000名が集結！ 壮大な全国大会式典

10月22日（木）、徳島県徳島市の**アスティとくしま**において、大会式典が盛大に開催されました。全国から集まった農業高校生をはじめ、教職員や大会関係者など、約5,000名が参加する壮大な大会となりました。

会場いっぱいに集まった農業高校生たちの姿は、まさに圧巻でした。全国各地で農業を学び、それぞれの目標に向かって努力している高校生たちが一堂に会する光景に、農業教育の素晴らしさと未来への大きな可能性を改めて感じました。また、大会式典では各種競技会の結果発表や表彰が行われ、全国の農業高校生の活躍をたたえ合う、感動的な時間となりました。





■ 全国大会での経験を、さらなる飛躍へ！

今回の全国大会では、農業鑑定競技会での２名の優秀賞受賞という輝かしい成果に加え、プロジェクト発表会での堂々とした発表、全国の仲間との交流など、多くの貴重な経験を得ることができました。全国大会への出場は、決して当たり前のことではありません。そこに至るまでには、生徒一人ひとりの努力、仲間との協力、そして先生方の熱心な指導がありました。

出場した生徒の皆さん、本当によく頑張りました。また、これまで指導してくださった先生方、活動を支えてくださった保護者や関係者の皆様に、心から感謝申し上げます。

全国の舞台で輝いた中農生の皆さん、本当にお疲れさまでした！



「命はぐくむ」の理念のもと、生徒一人ひとりの成長を支えてまいります。
神奈川県立中央農業高等学校